

令和元年度第2回三重県商工会議所連合会通常会員総会を開催

令和2年2月26日(水)

～令和2年度事業計画・収支予算を承認～

三重県商工会議所連合会（会長：種橋潤治）は、令和2年2月26日（水）都シティ津にて、県内12商工会議所の会頭・専務理事の出席のもと「令和元年度第2回通常会員総会」を開催しました。



▲挨拶をする種橋会長

種橋会長は、総会挨拶の中で「企業を取り巻く環境は、新型コロナウイルスはもとより、中国の経済停滞、イギリスのEU離脱など不確実性を増す世界経済、競争激化や深刻化する人手不足、経営者の高齢化と後継者不足など厳しい状況に置かれており、様々な課題への対応が急務となっている。こうした課題解決に向け、ICT等の導入・活用の促進、AI、IoT、ロボットなどを活用・整備対応の必要がある。また、頻発する台風等による風水害や発生確率が高いといわれる南海トラフ地震



▲ 総会の様子

への対応、社会基盤の整備を契機として、地の利を生かした三重県経済の活性化をいかに図っていくかなど、中長期的な視点での検討も必要と考えている。三重とこわか国体、三重とこわか大会を控え、「太平洋・島サミット」も開催が決定した。こうしたイベントを、三重県各地域を国内外に売り込むチャンスとして捉え、交流人口の拡大による地域活性化に繋げるきっかけとし、また、今までの県連活動において、築かれてきた12の会議所の連携・協働を力として、今後、我々は今までに経験したことのないような社会環境の変化への対応が必要であり、こうした時こそ、常に時代の変化を先取りし、『進取の気概』を持って、三重県経済の発展を牽引することを使命とし、地域の活性化にチャレンジしていきたい」と述べられた。

総会では、令和2年度事業計画および収支予算について審議し、満場一致で原案どおり承認されました。

総会終了後は、KDDI(株)名古屋テクニカルセンター長の木佐貫啓氏を講師に、テーマ：『5G・IoTの活用について』の勉強会を開催しました。



▲ 勉強会の様子 右講師：木佐貫氏